

高トラフィック対応型セキュリティ アルゴリズム開発とセキュリティ機器 の試作開発

株式会社
MCセキュリティ

対象類型	競争力強化の形態	目的
ものづくり技術	技術革新	新商品開発



- 2 ■透過型ネットワークセキュリティ
既存のネットワークに挟むだけで、
強固なセキュリティを実現する。
- 3 ■インターネットを安全に使うために
●内部情報漏えいをブロック ●Webからの脅威をブロック
※改ざんされたWebサイトからの感染、スパイウェア、
トロイの木馬、ファイル交換ソフトに対応
- 4 ■直感的に操作できる「Webコンソール」
運用管理を簡単にする。
マニュアル不要の管理画面を搭載。
- 1: 素早く、簡単に「安全」「安心」
なネットワークを実現
2: 守りたいネットワークに挟む
だけで強固なセキュリティを
実現
3: 内から外、外から内に流れる
悪意のある通信をブロック
4: マニュアル不要のわかりやす
い管理画面

大量データ時代に向けた高性能セキュリティ機器の開発事業 通信の見える化を実現

インターネット（以下ネット）が広く使われるようになって20余年。使われ始めたころから、扱われる情報量は増加の一途をたどっている。当社では、ネット上にある公的機関や民間企業の重要情報を侵入者から守るためのセキュリティ機器を販売している。この数年、官民間問わずネット上で取り扱われるデータの膨大化により既存の製品では限界になることを予想していた。

そこで当社では、これまでの概念ではなく新たなアルゴリ

ズムによるセキュリティ機器の開発が必要であると考えた。アルゴリズムとは、考え方の順序であり、プログラムを構築する際の基礎的なものである。

新たなアルゴリズム開発では、当社の精鋭技術者が中心となって行った。また、ネットワーク機器用負荷試験機を導入し、開発したプログラムを実装した試作機に様々な負荷を与え、性能上限を測定しながら機器の開発を行なった。

主な成果

- ・ 高トラフィック対応アルゴリズムの実証
- ・ セキュリティ機器の製品化に向けた基礎部分の完成

本事業の成果

高トラフィック対応セキュリティ機器向けアルゴリズムの完成

予め想定したアルゴリズムを元にプログラミングを行い、実際の開発機器に実装して試験を行う。当社ではこれを繰り返し、新たなアルゴリズムが高トラフィック環境に対応できることを実証した。

今後の展望

大容量情報化時代に向けたセキュリティ機器の機能向上

本事業にて製品化に向けた基礎部分の開発が完了した。今後は製品化に向けた本格的な開発が行われる。国内ではマイナンバーを始めとする重要な情報を公的機関だけでなく企業でも扱う場面が多くなる。企業の大小関わらず、ITのセキュリティはますます強固なものが求められる流れになっている。当社が開発するセキュリティ機器の必要性は更に高まる。

インターネットに代表されるIT事業は、私たちの生活や価値観さえも変える圧倒的な力を発揮しています。しかし、その利便性の裏側に情報漏えいやネット犯罪など社会的問題も急増しています。

正にネット社会の「光」と「影」とも言えるでしょうが「影」を怖れて「光」の多大な恩恵と偉大な文化を減衰させてはなりません。

安全・安心な環境でインターネットを駆使できるのがネットワークセキュリティです。

弊社は従来製品の殆どが英語表示で、レポート機能もなかったため、デバイス・ソフト共に日本での開発—生産—販売を目的に設立いたしました。

更なる開発と新製品の市場投入を通して、少しでも社会貢献できるよう社員一丸となり頑張って参ります。



代表取締役社長

宮 脇 和 秀



5: オフィス内の開発風景

6: 緑に囲まれた環境に立地する社屋



株式会社 MCセキュリティ

代表者名: 代表取締役社長 宮脇 和秀

設立年月日: 平成18年2月10日

資本金: 40,000千円

従業員数: 12人

業種: 電気機械器具製造業

企業規模 (売上等): 2億円

住所: 〒690-0816 島根県松江市北陵町51-2

電話: 0852-31-9001

FAX: 0852-28-7240

URL: <http://www.mcsecurity.co.jp>

メール: info@mcsecurity.co.jp